

## 特別定額給付金の給付始まる 申請期限は8月10日(月)まで

新型コロナウイルス対策室 ☎572-6456

新型コロナウイルス対策として住民1人につき10万円給付される「特別定額給付金」の申請を受け付けています。5月8日(金)に世帯主宛てに申請書を発送しました。申請受付順に、5月12日(火)から給付を開始しました。

申請は郵送またはマイナンバーカードを使用しオンラインで手続きできます。(申請方法詳細11頁参照)



## 伊達市産マスクを配布

健康推進課健康管理係 ☎575-1116



伊達市の企業が製作した布マスクの配布が5月19日(火)から始まりました。配達地域指定郵便により2枚ずつ配布します。

これまでに、0〜5歳児、小中学生、妊婦にそれぞれ

2枚ずつ配布しました。緊急事態宣言は解除されましたが、引き続きマスクの着用による咳エチケットや手洗いなどの感染症対策を行い、一人ひとりが気を付けて過ごしましょう。

## 新型コロナウイルス対策室設置 総合相談窓口で相談受付

新型コロナウイルス対策室 ☎572-6456



5月1日、新型コロナウイルス感染症の対策や相談などの業務にワンストップで対応するために「新型コロナウイルス対策室」を設置し、総合相談窓口を設置しました。

辞令交付式で須田市長は30人の職員に「市民の命と生活を守ることを肝に銘じ職務にあたってください」と訓示しました。

対策室は感染症対策、給付金、相談・企画の3チームで構成し、感染拡大防止などの対策にあたります。

## 新型コロナウイルス感染症に関する相談

☎ 572-6456  
8時30分～17時  
(土日祝日含む)

## 密接避け段階的に 市内小・中学校で授業再開

学校教育課指導係 ☎573-5833

5月20日(水)から、市内の小・中学校で段階的に授業が再開され、6月1日(月)からは、全面的に授業を再開します。

市内の各学校では、臨時休校中も学年ごとに分散して登校日を設けるなど、「二つの密」を避ける対策を取ってきました。

このうち桃陵中学校で



は、体育館などの広い空間を臨時教室として授業が行われました。机の間隔が広がったことで、板書が見えない生徒が出ないよう、学習の内容を大画面に投影するなどの工夫をしています。

授業再開にあたり、各学校とも、こまめな換気、マスク着用、定期的な消毒、手洗いがいの励行、検温による体調管理など、基本的な感染症対策を徹底していきます。6月4日(火)からは活動時間を短縮して部活動を再開する予定です。

今後、市内小・中学校では、新型コロナウイルス感染症およびその拡大のリスクをできるだけ低減しながら、お子さまが健やかに学べるよう努めていきます。

## 新型コロナウイルス支援求め 各団体が市に要望書提出

4月24日、伊達市社交飲食業組合の木幡睦人組合長らが市役所を訪れ、飲食業存続のための支援を求める要望書を須田市長に手渡しました。木幡さんは「先が見えない状況での飲食店も厳しい経営を強いられています。」と現状を話しました。

須田市長は「速やかに支援策を打ち出し、対応します。」と延べ、要望書を受け取りました。



5月11日、福島県美容業生活衛生業同業組合の佐藤幸支部長らが市役所を訪れ、須田市長に要望書を手渡しました。佐藤さんは「感染リスクが高く不安に感じています。」と延べ、事業継続への支援を求めました。



須田市長は「接触が避けられない仕事なので不安だと思います。」と延べ、支援を検討します。」と延べ、要望書を受け取りました。

5月11日、保原商業協同組合の大竹進二理事長らが市役所を訪れ、小売・サービス業への支援を要望しました。大竹さんは「休業要請が出ていない業種もお客さまが来ない状況です。」と店舗維持のための補助などを求めました。

須田市長は「大きな減収になっているので国や県の状況を見て支援を検討します。」と延べ、要望書を受け取りました。

